

令和6年度 年次事業評価書（評価対象年度:令和5年度）施設名:日進市スポーツセンター

概要	施設所在地・所管課		日進市蟹甲町家布58番地1	所管課:学び支援課
	設置目的		利用者が健康な身体をつくり、スポーツやレクリエーションを楽しむことができる。	
	指定期間・選定方法		令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	選定方法:公募
	指定管理者	所在地	(代表企業)東京都品川区東品川4丁目10番1号	
		団体名・代表者	コナミスポーツ・エリアワン共同事業体(代表企業:コナミスポーツ㈱代表取締役社長 室田健志)	

	令和4年度	令和5年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	88,806千円	81,613千円	91.9%
利用料金収入	45,997千円	47,289千円	102.8%
施設利用者数	255,924人	259,008人	101.2%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5～1点)	
共通評価事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4	点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4	点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4	点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4	点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4	点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4	点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4	点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4	点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	5	点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	5	点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	5	点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	4	点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4	点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	4	点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	5	点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4	点
特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【9 緊急対応】 令和5年10月に停電が起きた際に競技場等が急遽、一定期間使用できなくなる事態が生じたがHP掲載や個別電話対応を適切に行ったことにより、利用者からの苦情が発生しなかった。		
		【10 施設利用の状況】【11 利用促進業務】 年間を通じて80%を超える高い稼働率を維持し、利用件数も昨年比で増加した。継続的に更新を行い、Instagramのフォロワー数は2500人まで増加した。また広報の折込でトレーニング室の無料券配布をしたこともあって、トレーニング室の利用者は5,000人程度増加した。		
		【15 収支の状況】 収支に関しては停電や工事に伴う閉館期間もあったにもかかわらず利用料金収入を増加させることができた。また、支出に関しても維持管理運営費を節減することができた。		
	その他特記事項			
	(施設所管課)改善に向けた助言等の内容	施設の老朽化に伴い修繕が必要な箇所が増えてきているので、修繕規模の大小や緊急性別で分類し、計画的・効率的に維持できるように整理していただきたい。		

個別評価事項（設置目的に応じた内容）	1 固有施設の活用	トレーニングジム、クライミング等固有施設を活用した事業を行っている。	4	点
	2 利用者配慮	市施設の休館日、休園日の受付を適切に行っている。	4	点
	3 防犯等貢献	市の防犯、救急救命活動に協力している。	4	点
	4 行政協力	市行事に協力している。	4	点
	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由 標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由 その他特記事項 (施設所管課)改善に向けた助言等の内容 トレーニング室の利用者数を維持できるよう、引き続き情報発信を続けていただきたい。		
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	指摘した施設の老朽化への対応として、業務記録の整備を中心に計画的な修繕に向けての準備を進めている。 修繕に対しても設備に対する知識をもとに適切に対応するとともに、迅速に対応している。 全館停電が発生した際には、迅速に非常用発電機などを用いて対応した。また、スタッフを適切に配置し利用者への対応を行うことができた。	合計	
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	全館停電やメンテナンス工事に伴う休館にも関わらず、利用者数の増加、料金収入の増加を達成することができた。 不測の事態においても的確に対応し、大きな混乱もなく通常どおりの営業に戻ることができた。	総合判定	
				A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。